

平成19年度定期作況報告

7月20日現在
北海道立根釧農業試験場

．気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次のとおりである。

6月下旬：最低気温は11.2 で平年より1.3 高かったが最高気温が18.6 で平年並であったため、平均気温は14.9 で平年並であった。降水量は22mmで平年並であった。日照時間は10.8時間で平年より30.8時間少なかった。

7月上旬：最高気温は20.4 で平年より1.9 高かったが最低気温が10.3 で平年並であったため、平均気温は15.4 で平年並であった。降水量は28mmで平年並であった。日照時間は66.1時間で平年より40.5時間多かった。

7月中旬：最高および最低気温が15.3および9.2 でそれぞれ平年より5.6および3.4 低かったため、平均気温は12.3 で平年より4.5 低かった。降水量は2mmで平年より45mm少なかった。日照時間は13.1時間で平年より12.8時間少なかった。

この1ヶ月間は、7月上旬の多照と7月中旬の低温、少雨が特徴的であったが、総じて、平年に比べ気温はやや低く、降水量は少なく、日照時間は並に推移した。

気象表

項目	6 月 下 旬			7 月 上 旬			7 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	14.9	14.7	0.2	15.4	14.6	0.8	12.3	16.8	4.5	14.2	15.4	1.2
最高気温 ()	18.6	19.5	0.9	20.4	18.5	1.9	15.3	20.9	5.6	18.1	19.6	1.5
最低気温 ()	11.2	9.9	1.3	10.3	10.7	0.4	9.2	12.6	3.4	10.2	11.1	0.8
降水量 (mm)	22.0	31.0	9.0	28.0	35.0	7.0	2.0	47.0	45.0	52.0	113.0	61.0
降水日数 (日)	6	4.3	1.7	2	5.1	3.1	1	5.2	4.2	9	14.6	5.6
日照時間 (時間)	10.8	41.6	30.8	66.1	25.6	40.5	13.1	25.9	12.8	90.0	93.1	3.1

注1)平年値は前10カ年平均値

2)日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

当 場 作 況

1. とうもろこし

作況： 平年並

事 由 7月上旬まで、気温が平年並に推移したため、生育は順調であったが、7月中旬に低温に推移したことから、草丈、出葉数の増加はやや鈍化した。7月20日現在の草丈は、前5カ年の平均値より8cm高く、出葉数は0.2枚多かった。
したがって、現時点の作況は平年並と判断される。

品 種 名	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エ マ	79	-	-	10.5	-	-
(前5カ年との比較)	79	71	8	10.5	10.3	0.2

- 注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。
- 2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成14年度より供試品種を「エマ」に変更している。
- 3) 「平年」は前7カ年のうち豊凶の平成17年および18年を除いた5ヶ年の平均値である。
なお、算出にあたっては、過去の「品種比較試験」又は「系統適応性検定試験」の結果を含めた。
- 4) 「エマ」について前7カ年分のデータが揃わない調査項目（草丈、出葉数）があるため、各表下段に平成14年～18年までの前5カ年のデータによる平年値と、それとの比較を掲載した。なお、各年の最終作況は、平成14、15、18年は不良、平成16、17年は良であった。

2. 牧草

(1)採草型(チモシー単播)

作況：2番草 平年並

事由

2番草：7月上旬まで、気温が平年並に推移したことから生育は順調で、2番草のチモシーの草丈は平年と同程度で、現時点での作況は平年並と判断される。

2番草 7月20日草丈(cm)						
2年目草地			3年目草地			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	
チモシー単播	35	33	2	35	34	1

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：2年目草地は平成15～18年の4ヵ年平均値。

3年目草地は平成16～18年の3ヵ年平均値。

3) は減を示す。

(2)放牧型(オーチャードグラス単播)

作況：2番草 不良

作況：3番草 平年並

事 由

2番草：生育期間(6月上旬～6月下旬)の気温は平年に比べ、平年並からやや高く推移したものの、再生直後の6月上旬の降水量は1mmと極めて少なく、その後も平年並かやや少なく推移したため、2番草の草丈は平年並かやや高かったものの、乾物収量は少なく、放牧型2番草の作況は不良と判断された。

3番草：再生直後の7月上旬は気温および降水量も平年並で、日照時間も多く、順調に生育したが、7月中旬は低温に推移したため、生育はやや鈍化した。7月20日現在の3番草の草丈は、2年目草地と3年目草地における平年との差を平均すると+1cmで、現時点での作況は平年並と判断された。

草 地 草種	2 番 草						3 番 草		
	刈取り月日			草 丈 (cm)			7月20日草丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目 OG単播	7. 1	7. 1	±0	68	63	5	41	44	3
3年目 OG単播	7. 1	7. 1	±0	67	63	4	40	45	5

草 地	2 番 草					
	生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目 OG単播	827	1040	213	182	211	29
3年目 OG単播	889	1086	197	201	215	14

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：2年目草地は平成15～18年の4ヵ年平均値。

3年目草地は平成16～18年の3ヵ年平均値。

3) は減を示す。